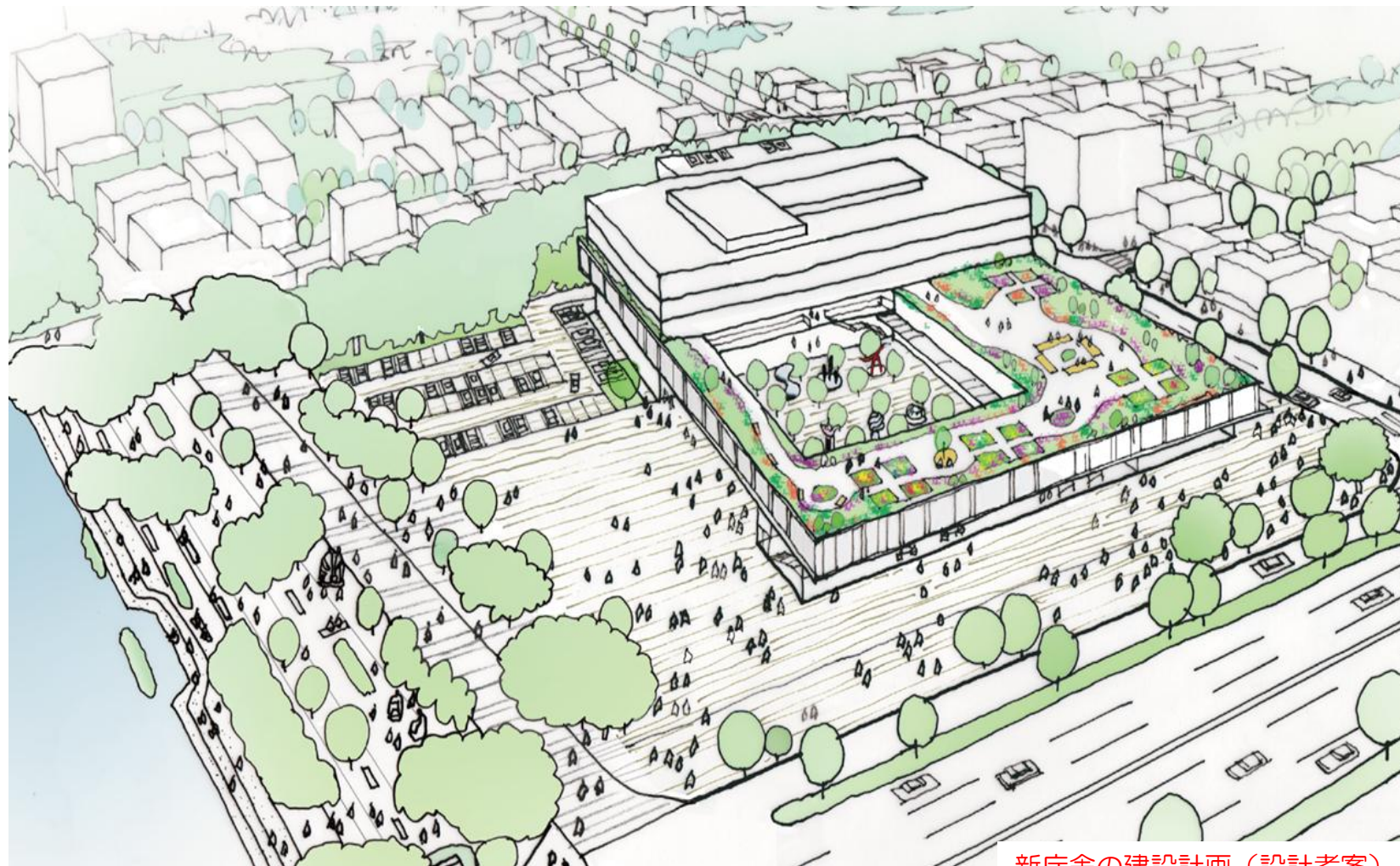


新庁舎建設に向けた取り組み



新庁舎の建設計画（設計者案）

平成29年12月4日

宇部市

本庁舎の建設年

いつごろ建てられたの？

別館
昭和62年

傍聴室棟
昭和36年

議場棟
昭和33年

高齢者
総合支援課棟
平成11年

東棟
昭和55年

西棟
昭和52年

本棟 1～3階
昭和33年
本棟 4階
昭和46年

耐震診断調査結果

(平成9年度調査)

傍聴室棟

Is値0.70～2.07

倒壊,崩壊の危険性 低い

議場棟

Is値0.20～5.98

倒壊,崩壊の危険性 高い

東棟

Is値0.19～0.49

倒壊,崩壊の危険性 高い

西棟

Is値0.65
～3.36

倒壊,崩壊の危険性 低い

本棟 1～3階

Is値0.30～0.48

倒壊,崩壊の危険性 ある

本棟 4階

Is値0.054～0.095

倒壊,崩壊の危険性 高い

Is値0.3未満では、
震度6～7程度で倒壊等の危険性が高い！
Is値0.6未満では、
震度6～7程度で倒壊等の危険性あり！

本庁舎の課題

耐震性

防災拠点機能

スペース

バリアフリー

不十分



宇部市新庁舎建設検討協議会

行 政

平成24年6月に設置

本庁舎建設にかかる基本的な考え方
(素案) 平成26年4月

建設場所

建設規模

機 能

建設手法

資金計画

時 期



新市庁舎建設促進特別委員会

議

会

平成24年12月に設置

報告書 平成26年6月

新市庁舎建設の必要性

新市庁舎の規模と機能

新市庁舎の建設手法と財源

議 会 施 設

*市制100周年(平成33年)は新市庁舎で

宇部市本庁舎建設検討市民委員会

市 民

平成26年4月に設置
関係団体の代表者、
市民委員、学識経験者 51人

建設の必要性、基本理念
市民利用機能、建設場所など

提言書 平成26年12月

市に提言

「現庁舎の敷地周辺で建替えることを原則として考える」

方針の決定

行政

「基本的な考え方」

市民

「提言書」

議会

「報告書」

平成27年3月

基本構想

基本理念

つながって みんなでつくる 無駄がなく 美しい 市民自治の拠点

本庁舎は、早急な建替えが必要

「現在地及びその周辺」での建替えが現実的

基本構想

7つの コンセプト

①明るく、市民が
利用しやすい庁舎

②機能的で事務効率が
高く、無駄のない庁舎

③市民の交流を生み、
市民の活動を支える
庁舎

④市民の安心・安全
を支える庁舎

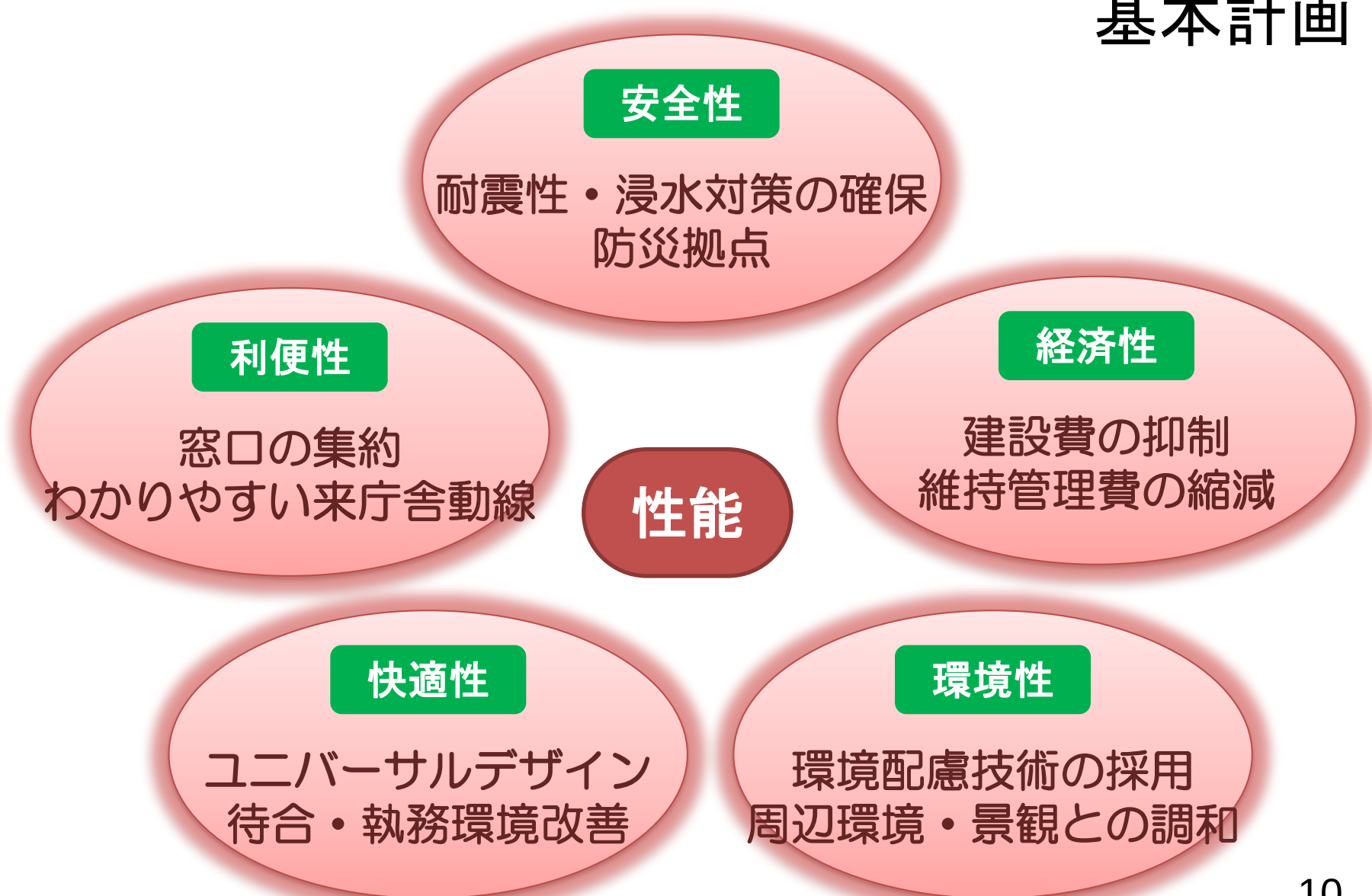
⑤議会を身近に
感じる庁舎

⑥経済性に優れ、
環境に配慮した庁舎

⑦まちづくりの拠点
としての庁舎

新庁舎に求められる「性能」

基本計画



新庁舎に求められる「機能」

基本計画

議会機能

市民とつながる
「市民に開かれた議会」

窓口機能

市民だれもが訪れやすく
利用しやすい窓口

執務機能

職員が快適で効率的に
働ける執務空間

機能

市民活動支援機能

市民活動を支援し
市民自らがつくる交流の場

防災機能

市民の安心・安全を
支え続ける防災拠点

まちづくり拠点機能

「緑と花と彫刻のまち」を
先導する 市民の憩いの場

新庁舎の規模 (市役所機能のみ)

基本計画(H28.8月)

① 実態調査に基づく規模算定

現庁舎における職員数や利用状況を踏まえ、適正な規模を算定。	23,779m ²
-------------------------------	----------------------



② 規模圧縮のための検討

将来的な職員数の削減を踏まえ、窓口等の業務改善や事務の効率化を進めることを前提に規模を圧縮。	18,386m ²
--	----------------------



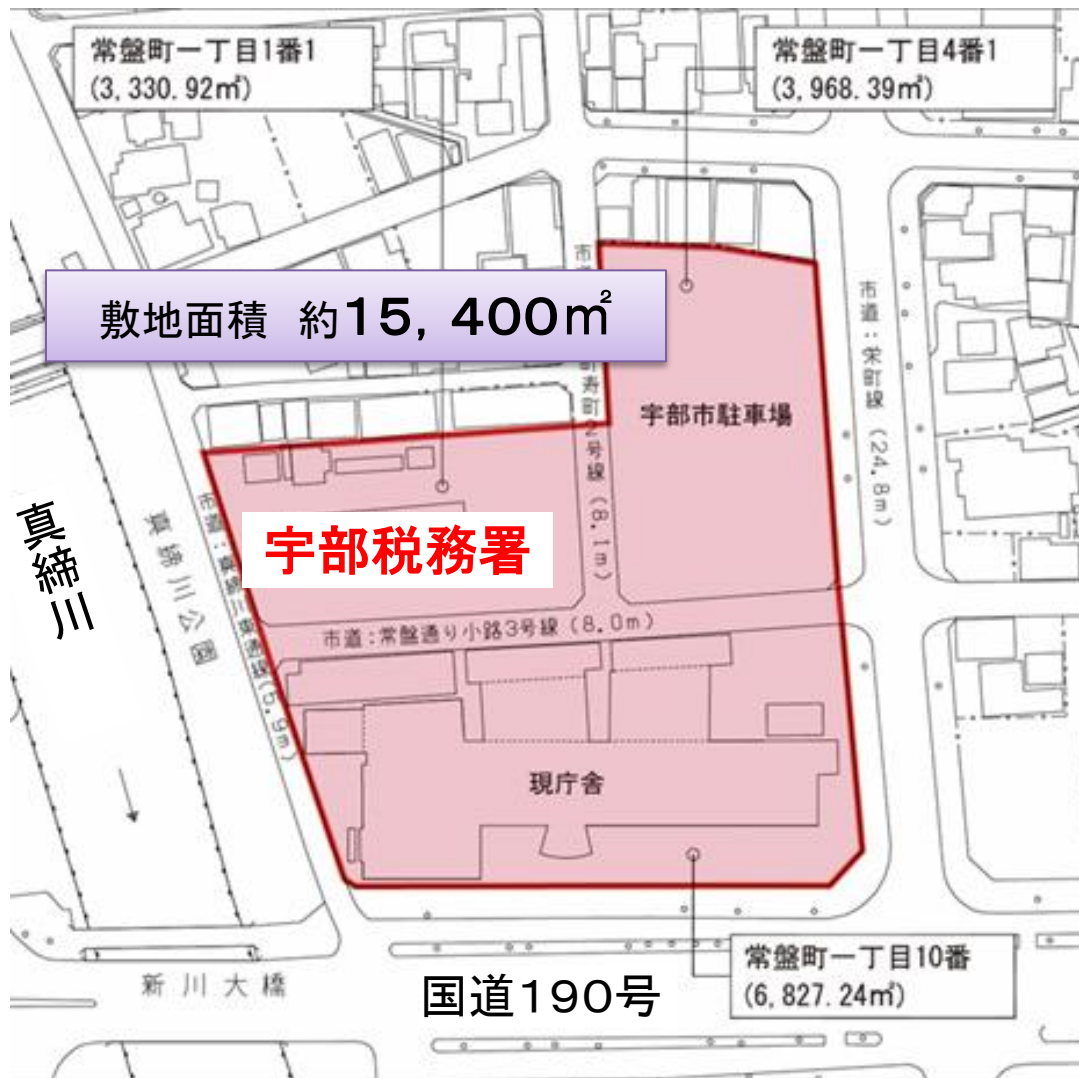
③ 竣工時点の配置人数の見直し

港町庁舎を新庁舎建設後も当面継続利用することとし、現本庁舎の配置人数のみを対象とし、規模を圧縮。	17,480m ²
--	----------------------

新庁舎の全体規模 : 約17,500m²

新庁舎の敷地

基本計画(H28.8月)



市庁舎と宇部税務署
(1,000㎡)との
合築について、国と合意



- 施設利用者の利便性が向上
- 国と市との連携により、財産を効率的に活用
- 庁舎周辺の一体的な環境整備が可能となり、土地の有効活用につながる



新庁舎の規模 18,500㎡
新庁舎建設に向け
国と協議を進めている

概算事業費及び財源

○本庁舎建設基金（平成9年設置）平成28年度末

約44.9億円

○庁舎建替え費用の概算 **基本計画**(H28.8月)

新築工事 面積18,500m² × 想定単価45万円 = 約83.3億円

解体・外構・その他経費、消費税等 約24.8億円

注) 立体駐車場等を除く

約108.1億円

○財源

現在の建設基金 約45億円に
出来るだけ積み増しする

残額は、市債等充当

新庁舎建設に向けた取り組み

- | | |
|-----------|---|
| ○平成28年 8月 | 基本計画策定 |
| ○平成28年10月 | 基本設計・実施設計プロポーザル開始 |
| ○平成28年12月 | プロポーザル二次評価（公開ヒアリング） |
| ○平成29年 1月 | 審査結果公表
（優先交渉権者：(株)佐藤総合計画） |
| ○平成29年 2月 | 基本・実施設計業務委託契約締結
佐藤総合計画・美建築設計共同企業体 |
| ○平成29年 2月 | 宇部市議会新市庁舎建設特別委員会
（2月、6月、8月、10月、11月） |
| ○平成29年 5月 | 新庁舎建設ワークショップ
（5月、7月、8月、9月、10月） |
| ○平成29年 5月 | アドバイザー設置（新庁舎建設基本・実施設計）
（建築、構造、防災、公共交通など 12名） |
| ○平成29年 7月 | 新庁舎配置計画方針決定 |

市役所新庁舎の配置計画

「真締川公園との一体整備」と「まちなみの連続性」を重視した2棟構成によるプラン



- ①現在の駐車場部分に1期庁舎(高層棟)を建設
- ②1期庁舎に移転した後、現在の庁舎部分に、常盤通りのまちなみに配慮した2期庁舎(低層棟)を建設

概算事業費は、
立体駐車場を追加し

約**113.5億円**

新庁舎建設基本設計の推進体制

